



コツコツ とこどん

大仙市立太田中学校
令和3年11月1日
NO. 82



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~



生徒会役員選挙立会演説会

伝統の継承 と 新たな創造へ



後期生徒会への期待

受け継ぐ力と創り出す力

10月29日(金)、生徒会役員選挙が行われました。演説会では、どの立候補生徒も課題意識とその改善のための考え、意欲をもっており、「明るさ」「躍動」「笑顔」「生徒同士の関わり、地域との関わり」「挑戦」「あいさつ」等をキーワードにした演説も説得力あるものでした。

そして演説内容から、これまで太中の先頭に立ち、率先して取り組み、引っ張ってきた3年生は、我々教員が思っている以上に後輩に大きな影響を与えてくれたことを実感しました。立候補者は「先輩のようになりたい」、そんな気持ちで立候補したことでしょう。その3年生も、きっと先輩に憧れ、超えるためにがんばってきたはずです。改めて3年生のがんばりに感謝の気持ちを強くしました。

選挙の結果は、次の通りです。

- 生徒会長 湯野澤 果林
- 生徒会副会長 戸嶋 暖斗 小松 朋美
- 佐々木 佑季音

認証式を経て新体制がスタートします。以前にも述べましたが、生徒会活動は、(教師の支援も当然ありますが)自分たちの手で、全校生徒が住みやす

い学校をつくっていく自治活動です。「自分がではなく、みんなが」がポイントです。それは先頭に立つ役員だけではできないことであり、全校生徒の力を結集して初めて達成されるものです。

特に先頭に立つ役員は訴えたことに責任をもち、自分個人の損得ではなく、他の意見を広く聞いて考え、全体のために提案し、率先して行動する責任があります。そして選んだ全校生徒には、同じ方向を向き、活動を自分のこととして捉えながら、みんなのために協力していく責任があります。太中生全員がその自覚の下、太田Prideの継承者として、伝統を受け継ぎ、充実・発展させるとともに新たな取組を創り出しながら飛躍する61年目の太田中学校の姿を思い浮かべているところです。

リーダーの心構えとして強く印象に残っている話があります。平和中出身で、東海大学主将として第95回箱根駅伝優勝の原動力となった湊谷春紀さんの箱根駅伝優勝後のインタビュー記事です。

『「強さ」というのは数字で表せない部分ではありますが、強さ=人間的な成長の部分だと考えました。そこで人として当たり前なこと、誰にでもできるようなこと、たとえばあいさつや掃除といった基本的なところからまずしっかりやろうと考えました。それでみんなが変わってくれたかどうかはわかりませんが、ずっとそういう言葉を投げかけていたので、少しは心に留めてくれたかなと感じています。』

太中のリーダーにはもちろん、太中生全員にもってほしい考え方だと思い紹介させてもらいました。